

グリーンフラッグ 2017 6月

～生きものの輝く頃を迎えて～

<環境コーナーをのぞいてみると>

2階の環境コーナーには、本校のエコスクールに関わる活動や環境について知らせたいことを掲示しています。

本年度の各委員会の取組や学年の取組が一目でわかるようになっています。学校丸ごとのエリア（活動範囲の地図）が子ども達の手で描かれ、活動したことは、写真を掲示していきます。

すでに、オオキンケイギク駆除やタンポポの花首取り、カラノギクのみか作りの写真が掲示されています。



<田植え>

晴天に恵まれ、6月6日（火）に「田植え」が行われました。本校の「田植え」は、冒険隊（縦割り班活動）で行われます。毎年恒例なので、6年生や5年生は、下学年の面倒をみるのが上手です。初体験の1年生は、田の中に足を入れるのも、歩くのも大変です。そんなとき優しく手を引いて連れて行ってくれます。これは、毎年光景なのです。大人に言われるわけでもなく、自然とできることがこの冒険隊の活動の意義だと思います。

田んぼは、生きものの居場所そのものです。今年、全学年で、田んぼの様子を見に行くなどしてイネの生長を見守っていければと思います。



カラノギクの苗をいただきました！

カラノギクの苗が育たなかったことは、以前にお知らせしました。そのことで、地域でカラノギクの保護地を作っている「相模川の環境を守る会」にお願いして、カラノギクの苗をいただけることになりました。地域の方から100本近い苗を分けてもらい環境委員会が学校まで運びました。

相川小が保護地としているほえみ広場のすみかに植えて、今年こそはたくさんのお花を咲かせたいです。いつかそこで自生するまでこの活動を継続していきたいです。



=ヒマラヤスギの球果=

今年、相川の森のヒマラヤスギが、球果（ボックリ）をつけました。子ども達は「青いタマゴ」と呼んでいます。ヒマラヤスギは、2016年度から、ナショナルトラストみどり財団の援助を受けて枝打ちをし、木の手入れをしています。そのためか昨年は、実をつけなくてがっかりしていたのですが・・・隔年性かもしれませんね。今年、3本の木が球果をつけました。秋には、バラのようなボックリ（シダローズ）になって、森に落ちた実を子ども達が目を輝かせて拾うことでしょう。



=ミツバチの分蜂=



相川の森にハチの大群が現れました。早速、厚木市郷土資料館の学芸員さんにホームページを見ていただきました。鑑定の結果、ミツバチの分蜂なので2～3日で旅立つとのことでした。大雨で1日伸びた4日目の朝、森に行くと見事に飛び立っていました。残ったハチを捕まえて、ハチの種類を特定していただきました。そして、セイヨイミツバチと判明しました。在来種のニホンミツバチにしても、セイヨウミツバチにしてもミツバチが少なくなっていることは確かです。無事に飛び立って良かったです。新しいすみかが見つかるといいですね。